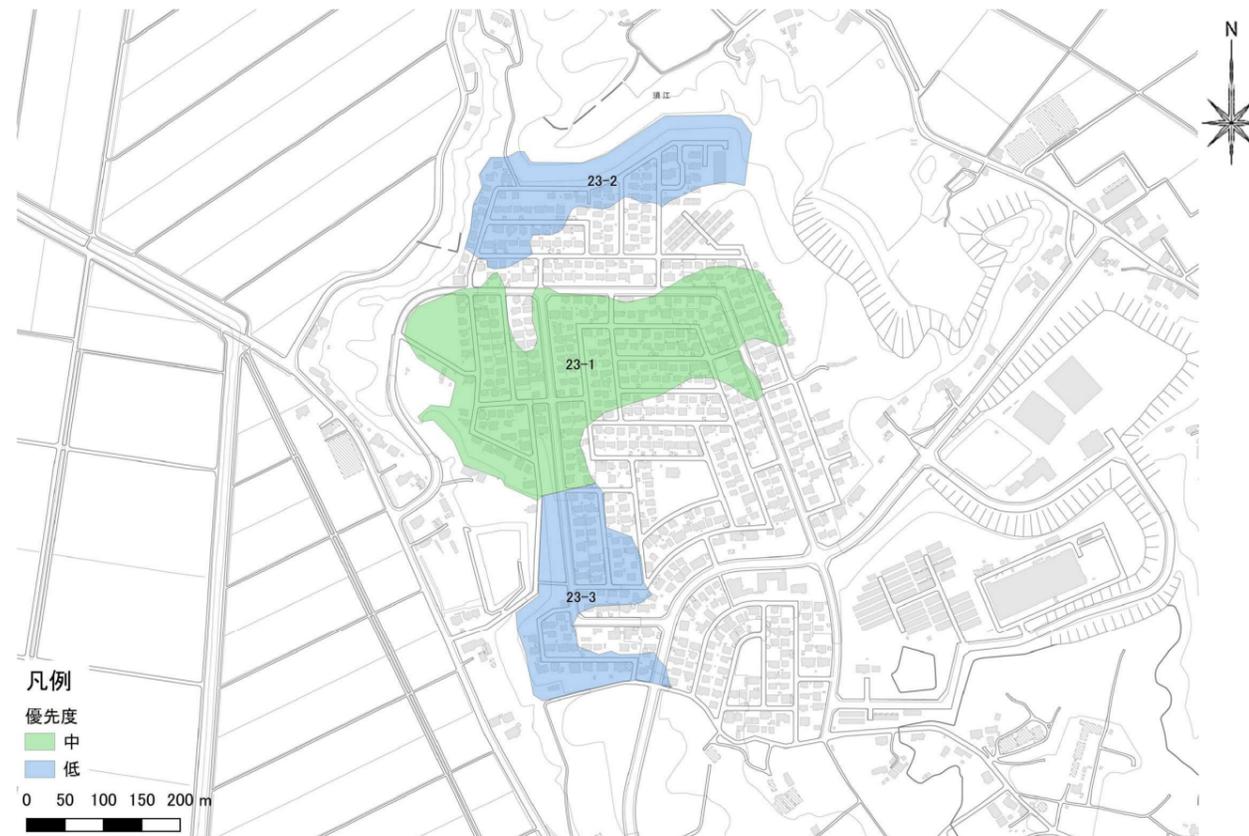


優先度評価一覧表

地区			盛土No.	①盛土および擁壁の形状と構造	②宅地地盤・擁壁のり面の変状の有無	③地下水の有無	④盛土下の不安定な土層の有無	⑤造成年代	⑥変動確率	優先度フローランク	被害規模	今回の基準	提案次期対応
No.	町	字		標準的な形状と構造に	有/無	有/可能性有/無	有/無・不明	基準年より	大小	A~C	ランク	による優先度	
1	須江	しらさぎ台	23-1	該当	無	可能性有	不明	後	小	B2	b	中	経過観察/地盤調査
2	須江	しらさぎ台	23-2	該当	無	無	無	後	小	C	c	低	経過観察
3	須江	しらさぎ台	23-3	該当	無	無	不明	後	小	C	b	低	経過観察

地区				盛土No.	盛土の種類	優先度フローランク	被害規模のランク	優先度評価	総評	被害形態
No.	町	字	番地							
1	須江	しらさぎ台	1~2丁目	23-1	谷埋め型	B2	b	中	西南西方向に緩やかに下る平滑な地形で、末端付近に高低差のあるのり面が作られている。路面のひび割れ・沈下が点在し、ひび割れは道路横断方向に直線的なものが多く傾向にある。北側部の道路はひび割れが多く、歩道の沈下が目立つ。北西部の広場下のり面において、盛土と基盤の境界から調査時湧水が認められるが、それ以外の滲出等の現象はみられない。西半部は造成前に水田であり、軟質土の対処状況が不明なため、盛土下の不安定土層は「不明」とした。相対的に優先度が高い造成地であると判定し、経過観察を踏まえ、盛土内地下水と、盛土および盛土下軟質土の状況確認のための地盤調査を検討するとよい。	すべり崩壊(盛土内の間隙水圧上昇による)
2	須江	しらさぎ台	1丁目	23-2	谷埋め型	C	c	低	上面は平滑であるが、北方向に長大のり面が作られている。また西方は急傾斜面の上部にブロック積が立てられ、微小な割れが認められる。路面のひび割れが非常に多く、北側のり面道路のひび割れは特に顕著である。植生繁茂のため北側のり面の詳細は確認できていないが、表層崩壊は発生しておらず、周辺の崖堆積物も安定しているようである。北部切土末端に湧水がみられ、土側溝に集められて耕作に利用されているが、盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない。今後の対応としては、路面ひび割れや側溝の変状について、経過観察を提案する。	すべり崩壊(盛土のり面の不安定化による)
3	須江	しらさぎ台	2~3丁目	23-3	谷埋め型	C	b	低	上面は平滑であるが、西方向に長大のり面が作られている。また南側は自然斜面にすり付けられている。東側範囲外の道路に多数のひび割れがみられるものの、盛土範囲の路面ひび割れは少ない。南側頭部のブロック積角部に小規模な補修跡がみられるが、その他構造物の変状は認められない。のり面の変状は認められないが、階段の小段部に割れや沈下が目立つ。調整池側のり面も変状はなく、調整池水位は低いため盛土に至らない。盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない。南半部造成前に耕作地があり、軟質土の対処状況が不明なため、盛土下の不安定土層は「不明」とした。のり面およびその上部道路に新規変状が発生していないかについて、経過観察を提案する。	すべり崩壊(盛土のり面の不安定化による)



あくまで調査の「優先度」であり、「危険度」を示すものではありません。